

インドネシア・合成ゴムプロジェクトを受注

2015年7月6日

東洋エンジニアリング株式会社

東洋エンジニアリング株式会社(TOYO、取締役社長 中尾 清)とイーカーペーター(IKPT、社長 細井 栄治)は、シンセティック・ラバー・インドネシア社(ミシュラン社とチャンドラアスリ社のジョイントベンチャー)より、インドネシア・ジャワ島西部チレゴンで、合成ゴムプラント(年産12万トン)建設プロジェクトを受注しました。本プラントではミシュラン社の技術によるSSBRとポリブタジエンラバーを製造します。原料となるブタジエンはチャンドラアスリ社の子会社であるペトロキミア・ブタジエン・インドネシア社から供給され、製造される合成ゴムは主にタイヤの原料となります。東洋エンジニアリングはインドネシア国外での調達業務を、IKPTはそれ以外の詳細設計、調達、建設工事一括を各々受注し、プラントの完工は2018年を予定しています。

TOYOはチャンドラアスリ社向けに、2011年にブタジエンプラント、2013年にエチレンプラント能増を受注しています。これらの実績及び、プロジェクト遂行上の各種提案が高く評価され、受注に至ったものです。約2億4千万人の人口を抱えて経済成長の著しいインドネシア市場では、自動車や自動二輪車の増加に伴い、タイヤの需要も急激に伸びています。今後もグループ会社のIKPTと協力し、積極的にビジネス拡大を図ります。

受注概要

- 客先: シンセティック・ラバー・インドネシア社 (ミシュラン社 55%、チャンドラアスリ社子会社のスチリンド・モノ・インドネシア社 45%出資のJV)
- 受注者: 東洋エンジニアリング株式会社とIKPT
- 建設地: インドネシア ジャワ島西部 チレゴン
- 対象設備: 合成ゴムプラント: 年産 12 万トン(SSBR(Solution Styrene Butadiene Rubber、溶液重合スチレンブタジエンゴム)、ポリブタジエンラバー)
- ライセンサー: ミシュラン社
- 役務内容: 詳細設計、機器資材の調達および工事までの一括請負
東洋エンジニアリング: インドネシア国外での調達業務
IKPT: 上記を除く設計・調達・建設業務
- 完成予定: 2018年

<お問い合わせ先>

広報・IR部 [担当:佐藤、深沢] TEL:047-454-1113